

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表							
記入年月日	平成19年4月10日		記入者	神保 広文		連絡先	5153
平成18年度部名	学校教育部		課名	青少年相談センター		課長名	小西 保勝
平成19年度部名	学校教育部		課名	青少年相談センター		課長名	小西 保勝
事務事業名	施設維持管理事業						
予算上の事務事業名	施設維持管理費						
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14125			
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして						
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します						
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造						
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実						
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等							
相模原市青少年相談センター条例							
相模原市青少年相談センター条例施行規則							
3 個別計画の概要				概要			
計画名							
計画年次		年度～		年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度			
6 事業概要							
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）		
青少年相談センターの施設を維持することにより、教育相談等の充実に資する。					青少年相談センター来所者		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。							
相模原市立青少年相談センター・南室の維持管理							
7 関連事業・類似事業又は他市の状況							
他自治体も同様な目的で実施している。							
8 事業費の推移 〔単位：千円〕							
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業費	11,418	10,404	11,915	12,896	13,000		
一般財源	11,418	10,404	11,915	12,896	13,000		
受益者負担金	0	0	0	0	0		
その他の特定財源	0	0	0	0	0		
人件費の合計	0	0	0	0	0		
事業コスト合計	11,418	10,404	11,915	12,896	13,000		
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率							
事業名 (主たる事業名)	施設維持管理費			対象名称 と単位	来所者(人)		
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業コスト(主たる事業)	11,418	10,404	11,915	12,896	13,000		
対 象 数	936	1,054	1,100	1,200	1,300		
単位あたり経費(円)	12,199	9,871	10,832	10,747	10,000		
前 年 度 比		0.81	1.10	0.99	0.93		
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの							

指標名と単位	施設維持管理経費率	指標式と指標の説明	施設維持管理費（円）／来所者数（人）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	12,199.0	9,871.0	10,832.0		
目標	12,199.0	11,589.0	11,010.0	1,046.0	994.0
目標達成度（％）	100.0	117.4	101.6		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	相談件数経費比率	指標式と指標の説明	相談件数増加率（％）／単位あたり施設維持管理経費（円）		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	1.1	0.3	2.5		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度（％）	106.6	33.4	254.8		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域社会における青少年の健全な育成を図るとともに、青少年の非行化を防止するため、青少年相談員を配置し指導・啓発に向けて継続してきたが、昨今の地域の教育力向上の要請にこたえるためにも、本事業を継続していくことが求められている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
環境マネジメントシステムの推進を通じて、一層の効率化を図る。					
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			